

京都嵯峨芸術大学 履修規程(抜粋)

(成績評価)

第11条 学則第27条に定める成績評価は、「優」「良」「可」を合格、「不可」を不合格とし、原則として授業参加の程度及び試験等により、以下の基準にしたがって行う。

- 優 : 80点以上100点  
学習目標の内容を理解し、修得したものと認められる優れた成績
- 良 : 70点以上80点未満  
学習目標の根幹的な部分は理解し、修得したものと認められる妥当な成績
- 可 : 60点以上70点未満  
学習目標の最低限の理解は得られたものと認められる成績
- 不可 : 0点以上60点未満  
学習目標の最低限の理解が得られていないと認められる成績
- F : 受験不可、未受験  
出席不足、レポートの未提出、未受験等により評価できないもの(認定不能)

2 成績評価については、予めシラバスに評価基準と評価方法を明示するものとする。

3 他大学等における既修得単位並びに他大学等における単位互換科目の修得単位の成績表記は「認」とする。

(留年・卒業判定)

第13条 各学科において定められた年次指定の必修専門科目(実習・演習)の成績評価が、「不可」もしくは「F」となった場合、及び最終年次終了時において、卒業要件単位数を満たしていない場合は、教授会の議を経て留年とする。

2 卒業要件単位不足により留年した者の内、当該年度前期終了時に不足単位を取得した場合、教授会の議を経て学長が前期卒業を認定する。

3 各学科において定められた卒業に必要な単位数は、次のとおりとする。

卒業要件単位(平成23年度以降の入学生に適用)

科目区分	必修単位数
一般教育科目	36単位以上 ・教養ゼミ2単位必修 ・言語と表現より6単位必修 ・情報より1単位必修
専門教育科目1	20単位以上 ・造形学科学生は京都プロジェクト関連科目から1科目2単位必修 (京都デザイン論・京都文化論・仏教文化論のいずれか) ・デザイン学科学生は京都プロジェクト関連科目から4単位必修 (京都デザイン論・京都文化論、仏教文化論のいずれか1科目2単位を含む)
専門教育科目2	・必修科目48単位 ・自学科選択科目より12単位以上必修
各科目区分の最低取得単位以上の単位	8単位 ・一般教育科目・専門教育科目1・2の必修単位数を上回った単位および 専門教育科目2の他学科選択科目より取得した単位
卒業要件単位数	124単位以上

卒業要件単位(平成22年度以前の入学生に適用)

学科・入学年度	学部共通	
科目区分	2005年度以降(共通)	2004年度以前(共通)

学部 共通 科目	人間関係基本科目	32 単位以上 ・教養ゼミ 2 単位必修 ・言語と表現より 6 単位必修			32 単位以上 ・言語と表現より 8 単位必修	
	情報関連科目	4 単位以上			4 単位以上	
	芸術関連科目	18 単位以上 ・表現演習より 2 単位必修 ・仏教文化論・京都文化論のいずれか 1 科目・2 単位必修			18 単位以上 ・表現演習より 4 単位必修 ・仏教文化論・京都文化論の 2 科目・ 4 単位必修	
最低必要単位数(小計)		54 単位			54 単位	
学科・入学年度 科目区分		造形学科		メディアデザイン学科	観光デザイン学科	
		2005 年度以降	2004 年度以前	2007 年度	2005 年度以降	2004 年度以前
学科 別専 門科 目	基礎科目群	24 単位	24 単位	28 単位	24 単位	22 単位
	基幹科目群	24 単位	24 単位	24 単位	24 単位	24 単位
	展開科目群	14 単位以上	14 単位以上	14 単位以上	14 単位以上	16 単位以上
最低必要単位数(小計)		62 単位	62 単位	66 単位	62 単位	62 単位
最低取得単位数以上の単位		8 単位		8 単位	8 単位	
自由選択科目			8 単位			8 単位
卒業要件単位数		124 単位	124 単位	128 単位	124 単位	124 単位

(学位授与)

第 14 条 学則第 19 条第 2 項に基づき、前条に定めた所定の単位を修得した者に対して  
学士(芸術学)の学位を授与する。

2 その他、学位授与に関する詳細は、学位規程に定める。